

作成日：2023年2月14日

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

人工肛門造設患者に対する腹腔鏡下肝切除術の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月～2023年9月に昭和大学病院で大腸癌肝転移に対して腹腔鏡下肝切除術を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

大腸癌は肝転移を発症しやすく腹腔鏡下肝切除を施行する際に人工肛門が造設されていることがあります。

本研究では腫瘍の局在、人工肛門造設時の術式、人工肛門を造設した腸管、癒着防止剤使用の有無、肝転移巣に対する術式、開腹移行の有無、手術部位感染の有無、手術時に使用した物品、病理結果を検討致します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2023年9月30日までです。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

大腸癌肝転移に関する情報（画像検査結果、腫瘍の局在、人工肛門造設時の術式、人工肛門を造設した腸管、癒着防止剤使用の有無、肝転移巣に対する術式、開腹移行の有無、手術部位感染の有無、手術時に使用した物品、病理結果、手術記録）及び患者背景（カルテ番号、年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器・一般外科）氏名：井関貞仁

住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8541

研究責任者：井関貞仁（医学部外科学講座消化器・一般外科）